

らび Sports@ 068

スポーツを愛する市民の写真情報誌
 8/25号
 毎週水曜日発行
 いわき民報(夕刊)

飛ばせ白球!! IBCティーボール大会

2回目を迎えたティーボール大会には、下級生を中心に学童軟式野球、リトルリーグ、ソフトボールの12チームが出場。選手は使用ボールの垣根を越え、伸び伸びプレーを楽しんでいた。

新人戦の前哨戦 白熱

いわきカップ中学バスケ

いわき勢が男女そろってV
サンシャインカップ争奪高校バレー



いわきベースボールコミュニケーション主催

第2回ティーボール大会

低学年層の野球への導入競技として普及が進んでいるティーボールの第2回大会。21日に勿来市民運動場で開催し、学童軟式野球、リトルリーグ、ソフトボールの12チームがA、Bの2つのブロックで熱戦を繰り広げた。Aブロックは全国大会3位入賞の実績を持つ中神谷スポーツ少年団が力を示して優勝。Bブロックは磐城リトルが混戦を制し、栄冠を手にした。

Aブロック

Bブロック



優勝 中神谷スポーツ少年団



優勝 磐城リトル



準優勝 マツザキガーデンジュニアスポーツ少年団



準優勝 平少年野球教室



3位 いわき南野球スポーツ少年団



3位 勿来少年野球教室



3位 いわき球友スポーツ少年団



3位 中央台リトルベアーススポーツ少年団

Aブロックは中神谷が完勝でV
Bブロックは磐城Lが混戦制す



第3回内郷体育協会長杯争奪バレーボール大会兼
第21回市サンシャインカップ争奪サマー大会
バレーボール高校男子・女子選手権大会

いわきバレーボール協会が高校の強化策として毎年春、夏、冬に開催している大会で、今回は16、17の両日に男子は湯本高と磐城高体育館、女子は磐城一高体育館で開催。県内外から男子8、女子7校が出場した。いわき地区からは男子に湯本、平工業、磐城、女子に磐城一、磐城桜が丘が参戦。男子で平工業、女子で磐城一が優勝した。

新たな目標に向かって
新人チームが第一歩



第16回いわきカップ中学校
バスケットボール競技大会

新人戦のシード選考を兼ねた同大会20、22の3日間、南部アリーナと勿来体育館の2会場で開催。男子20、女子21校が激突し結果、男子は中央台北、女子は中央南が優勝した。選手は新人戦に向け、実戦を通してレベルアップを図っていた。

運動テキスト

⑤ ナンバリングパス



★方法

輪になって、ボールを順番にパスします(ビブスなど番号を付けて分かりやすくするとよい)。番号を決め、番号順にパスをしていきます。競技に合わせてバスケットボールのようにしっかりキャッチしてからパスをしたり、バレーボールのようなパスをしたり、サッカーのように足でパスをしてもよいでしょう。さらに難しく、高度なトレーニングになる方法もあります。

★運動のポイント

順番通りに、正確にパスをします。定位能力や分化能力を意識しましょう。

★運動の変化

- ◆全員が動きながらパスをする(スペースを区切るとわかりやすい)。
- ◆区切られたスペースの中に複数のグループを入れ、同時にパスを行う。交錯する中でも自分がパスする相手を見つけ、正確にパスすることを目指しましょう。

★ここが大切!

安全面での配慮も必要です。子どもたちは夢中になりすぎる場合もあります。指導者は必要な言葉かけを行い、注意事項をしっかりと伝えておきましょう。

こどもの体力を考える



～バレーボール部活動と授業の現場から、こどもの体力向上と競技力向上を考える～ vol.5

今回は、なぜ今の子どもたちにCOT(コーディネーショントレーニング)が必要なのか書きたいと思います。今の子どもたちは、運動や社会生活など、さまざまな面で経験というものが少ないと言えます。TVゲームなどでバーチャルな経験はいろいろしているのですが、実際に自らのからだを使い、からだで感じる経験というものが非常に少なくなっています。TVゲームなどでは、脳の一部分しか使わず、脳全体をバランスよく使った活動をしていないので、脳自体のバランスが崩れ、精神的にも身体的にも非常にバランスの悪い状態になっていると言えます。そのため、想像力に乏しい人の痛みを感じ取ることなども苦手になっていきます。もちろん、こ

日々の生活から考え、工夫し、挑戦する経験を積ませる指導を

れも自らの経験の不足が原因であるように思います。バレーボールの指導で言うと、以前は「腕を振るには、野球のスローイングのように反対側の腕の動かし方も重要」といったように他のスポーツを例に挙げたり、レシーブで絶対にボールを落ささないというイメージを持たせるために、「もし2階の窓から赤ちゃんが落ちそうになったら、どんな構えで、どんな形で手を出して助けようとする?」といった発問に対して、子どもたちは過去のさまざまな経験から想像し、その動きや状況をイメージすることができています。さらに子どもたちは、物事を考え、工夫し、挑戦する経験が非常に少ない状態で育ってきています。流行の脳科学にある「A体験や恐怖体験といったものは、以前は生活の中に多く存在し、遊びの中でちょっとした危険を味わうことや、面倒な手伝いをいかに早く効率的に済ませるかといったことを真剣に考える中で、自然に行われてきていたものと思えます。しかし今の世の中は、指導者が意図的に子どもに経験させない、なかなか経験できなくなっています。

きたように思います。これは本格的な運動経験や実体験がなくて、普段の生活や遊びの中での経験が生かされ、脳でイメージを作り上げることができていたからだと思います。しかし、最近の子どもたちは、運動や遊びの経験が少なく、イメージすることが苦手になっています。さらに子どもたちは、物事を考え、工夫し、挑戦する経験が非常に少ない状態で育ってきています。流行の脳科学にある「A体験や恐怖体験といったものは、以前は生活の中に多く存在し、遊びの中でちょっとした危険を味わうことや、面倒な手伝いをいかに早く効率的に済ませるかといったことを真剣に考える中で、自然に行われてきていたものと思えます。しかし今の世の中は、指導者が意図的に子どもに経験させない、なかなか経験できなくなっています。

私が部活動の指導で大切にしていることは、普段の生活をどのように送るかということ、厳しい練習の中でも自分できちんと学習の時間を確保すること、そして最も大切であると考えていることが家庭の手伝いをすることです。技術は二の次です。生徒の行動面、部活動だけでなく普段の生活まで細かく指導していくことは容易ではありません。また、部活動の生徒だけでなく、学校の全生徒を指導するにはいけません。時間的にも足りなくなってしまうので、時間的余裕がない中で、精神面と技能面の両方を指導でき、さらに考える力を含めた脳を活性化させる運動ができるのがCOTです。



サンシャインカップ争奪高校バレーでは、市内各校の主力として活躍する豊岡中OBの姿があった

情報くりっぽ

(26～9月1日)

【27日】シルバード2010第23回市スポーツ大会(市立総合体育館) 第50回県高新人体育大会陸上競技いわき地区大会(いわき陸上競技場) 28、29日

【28日】第62回秋季東北地区高校野球福島県大会(いわき支部大会) (いわきグリーンスタジアム、平球場、小名浜球場) 29、31日、9月1、4、5日 第24回市立総合体育館) 第11回いわき明星大学賞学校弓道大会(いわき弓道場)

【29日】第34回佐久間旗争奪剣道大会(南部アリーナ)

【募集】第2回いわきサンシャインマラソンが来年2月13日に開かれる。9月1日から参加者を募集。種目はフルマラソン、10キロ(一般男子、一般女子、高校男子、5キロ(一般女子、高校女子、中学男女)2キロ(3年生以上の小学男女)、2キロペア(小学1・2年の親子)の5種目32部門。募集は11月15日まで。先着順。申し込みはインターネット(携帯サイト)、専用振替払込用紙で行う。問い合わせは、いわきサンシャインマラソン実行委員会事務局(電話) 76077まで。

水曜日の顔

